事務事業調書	No	783	課 名	体育課	起 案 者	梶川和由
平成23年度			係 名	庶務係	決 裁 者	早川雅己
事 業 種 別	施設管理		区 分	継続	業務一覧No	1,2,3,4,5,6
事務事業名	レジャープール施設管理事業				他 係名	
					他係 業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 5 スポーツ施設の効率的利用と整備充実 1 公共スポーツ施設の充実	予算科目(会計)	一般会計
		予算科目(款・項・目)	50-30-25
		総合計画以外の計画	
		関連する総合計画の施策	
性質区分	市の内部事務事業	法定受託事務	無
根拠法令	有	体育施設の設置及び管理に関する条例	
実施方法	一部委託	委託先	民間企業
実施期間	開 始	平成11年度	経 過 12年目 / 終 了 / 期 間
公約・議会答弁	有	平成１７年６月議会指定管理者制度導入について	
陳情・市民要望	無		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	利用者が	～になる	気軽に利用できる
事務事業の内容	環境クリーンセンターのごみの焼却熱を利用した、レジャー型温水プールの管理運営			
事務事業進捗状況	利用者数１２年度２２９，６８３人、１３年度２０１，７４５人、１４年度２１０，８７７人、１５年度２２６，６９８人、１６年度２３０，１１２人、１７年度２１２，０３５人１８年度２１３，３６３人、１９年度２０４，１８３人、２０年度１１９，８４６人、２１年度１９５，７８３人			
改善・対策の履歴	利用者への安全環境・情報提供とともに利便性の向上を進めていく。			
環境配慮の視点	環境目標○－基本的施策○－具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
			目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		74,421	77,892	121,978	81,907	73,358	73,273	172,466
	財 源 計 a		74,421	77,892	121,978	81,907	65,828	65,743	163,053
	財源の内訳	国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		県 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		市 債	0	0	0	0	0	0	0
		その他( )	0	0	0	0	0	0	0
		一 般 財 源	74,421	77,892	121,978	81,907	65,828	65,743	163,053
	受 益 者 負 担 金		0	800	0	0	0	0	0
	職 員 人 件 費 d		0	0	0	0	7,530	7,530	9,413
	内 訳	従 事 職 員 数	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.25
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）	委託業務	見込(単位)	1.00	1.00	1.00	1.00
				実績b(単位)	1.00	1.00	1.00	
		指標名(単位)	施設保守管理(一式)	活動の総事業費f 実績	61,041	60,691	60,441	
				単位コストg=f÷b 実績	61,041.00	60,691.00	60,441.00	
	活動②	活動名（活動内容）		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				
	活動③	活動名（活動内容）		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5（1） 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	利用者数(千人)	見込(単位)	204.00	200.00	196.00	0.00
			実績(単位)	200.00	196.00	206.00	
			達成状況	未達成	未達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
			見込(単位)				
			実績(単位)				
			達成状況				
		目標成果指標値		目標達成年度			

5（2） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	２２年度利用者内訳プール専用利用３７，２９９人プール個人利用１４７，９３２人、トレジム利用２０，７５９人

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位コスト	委託業務を集約し、一本での委託契約として経費の節減をした。
	成果1，2	・指定管理者としての経験を活かした自主事業を実施し、集客数の増大を図った。

7 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	指定管理者として経費的にも節約ができ、かつ民間ならではの事業を取り入れ利用者には好評を得ている。ただし、安全管理については、指導を怠らないようにし、徹底を図る。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	安定的な委託業務の遂行を図る。